

予算の使い道

「第五次総合計画」に掲げる4つの主要施策の
主な事業と予算について紹介します。

重要施策①

輝く人のまち「人」

◆学校教育

「町教育大綱」に基づき、人権教育や命を守る教育を一層充実させるとともに、学校・家庭・地域社会が協働して取り組みながら、「ひとりひとりが輝くまち養老」をめざし、「ふるさと養老」への誇りや愛着を醸成することにより、「養老町で子どもを育てて良かった」「養老町の園・学校で学ばせて良かった」と、誰もが実感できる教育を進めていきます。

また、学校と地域が一体となり子どもの成長を支えるコミュニティ・スクールの趣旨を一層広めるとともに、土曜授業などでは「ふるさと養老テキスト」を活用した教育やキャリア教育を推進することにより、本町の「歴史・文化に対する理解」や「生きる力」を養うなど、創意工夫ある教育の推進に努めていきます。子どもの貧困対策の一環として取り組んでいる、「地域

による学習支援」（スマイルゲンちゃん学習会）については、生活保護世帯や一人親家庭に加え、授業への参加が難しい児童・生徒も新たに対象とすることで、さらに多くの子どもたちが、家庭の事情等にかかわらず、未来に希望を持ち学習に取り組めるよう支援していきます。

◆学校施設・学習環境

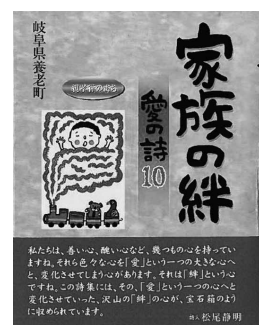
子どもたちが集中して学習に取り組めるよう、良好な環境を確保するため、昨年度の国の補正予算を活用し、笠郷小学校を除く小学校6校の空調設備を整備します。

さらには、ICT教育を推進するため、未整備であった小学校5校にタブレット端末を整備するとともに、プログラミング学習用キットも整備していきます。

◆青少年育成

全国から応募していただいております「家族の絆・愛の詩」募集事業につきましましては、第20回を迎える記念すべき年であり、誇りと愛着が持てる

絆を大切にすまをめざし、「親孝行のふるさと養老」をさらに全国へ発信していきます。



家族の絆・愛の詩 詩集

◆生涯学習

町民憲章の実践と生涯学習の推進母体である「親孝行と生涯学習を進めるまち養老」町民会議の各種事業を一層推進するとともに、これからも、町民会館・中央公民館・地区公民館を中心に、町民の自主的・自発的な学習活動の機会を提供し、生涯学習の充実を図っていきます。

◆生涯スポーツ

「1町民1スポーツ」を推進し、町民の声を反映したスポーツ環境の整備を進めるため、町スポーツ推進計画を改訂します。

また、子どもからお年寄りまで気軽に取り組むことがで

きるバルシューレやノルディックウォーキングを普及するとともに、絆ウォーキングやバルシューレチャンピオンシップなどを実施し、スポーツをととした町の魅力発信に努めていきます。



バルシューレ教室の様子

◆人権

社会情勢の変化とともに複雑・多様化する人権問題に対応するため、町民意識調査などを実施し、町人権教育・啓発に関する基本計画の改訂に着手します。